

# Kyoto Style Cafe 2008

## - 募 集 要 項 -

### 1. 事業趣旨

京都の染・織・繻の素晴らしい技術を紹介し、実際にその高品質な素材や商品を首都圏において情報発信するために、2004年から東京・南青山や表参道において「Kyoto Style Cafe」と名付けた展示会を実施し、関係各方面より高い評価を頂きました。

2008年においても、過去4回の実績を踏まえ、京都の染織・繊維業者と家具メーカーやアミューズ・アートジャム・コンペティション部門とのコラボレーションにより、ライフスタイルを切り口とした商品開発、プレゼンテーションを展開することで、首都圏の商社・メーカー・百貨店・流通業界・デザイナーなどとのビジネスマッチングの場を創出し、販路拡大を目指します。

また、首都圏の百貨店やインテリアショップのバイヤーを講師に迎え、開発商品に対するアドバイスやトレンド予測のための、トレンドセミナーを開催し、ものづくりからプロモーション・販路づくりまでをサポートします。

### 2. 展示会の概要

会 期：2008年1月22日(火)・23日(水)

会 場：スパイラルホール(東京都港区南青山5-6-23 スパイラル3F)

来場者：ファッション関係者(デザイナー、スタイリスト、商社、メーカー、百貨店、小売店等)

インテリアショップオーナー、生活関連事業者等

マスコミ関係者 約500名

会場構成：下記の会場構成に沿って、商品・試作品・素材等のライフスタイル提案型の展示をします。

モデリング・ギャラリー<スパイラル3階ホール>

京都の染・織・繻の素晴らしい技術や高品質な素材・商品をもとに商業空間やインテリア企業へ向けた製品開発、また、家具メーカーとのタイアップによる生活空間提案を行うほか、参加希望者自社製品をテーマ別に編集し、展示を行います。

アート&ファッション<スパイラル3階ホワイエ>

アミューズ・アートジャム 2007・コンペティション部門でデザインを公募し、素材提供、試作を通じて自社の素材・技術のアピールにお役立て頂きます。

アミューズ・アートジャムについて

サザンオールスターズや福山雅治等のミュージシャンやタレントなどを発掘・育成し、マネージメントしてきたアミューズが、1200年の伝統ある京都の芸術(アート)を育ててきた土壌と、街そのものが持つアーティストを育てていこうという気風に注目してスタートしたアート・プロジェクト。2002年より京都でスタートした「アミューズアーティストオーディション」は、新人アーティスト発掘の登竜門として注目を集めている。2004年より「アミューズアートジャム」と名称を変更し、アートの見本市をテーマにアミューズはもちろん、多くの企業の商品企画開発を進めている。

和雑貨ショーケース<スパイラル1階ショーケース>

タレント(アーティスト)によるデザイン・モチーフを用いた風呂敷・座布団・クッション、マフラー等の試作商品の展示を行います。

展示スペース：上記の会場構成に準ずるため、個々の企業・団体毎の展示ブースはしつらえません。

展示品、展示方法等の詳細は当事業のコンセプトにあわせて協議決定していきます。

### 3. 主催等

主催：ファッション京都推進協議会(会長：吉田忠嗣)

企画推進：ファッション京都推進協議会企画委員会

企画協力：NPO 法人京都伝統工芸情報センター

協 力：株式会社アミューズ

## 4. 参加応募資格

- ・京都府内に事業所または事務所を有し、京都の染・織・繻の生産、加工、販売を行う事業者及び団体
- ・会期中、商品説明や商談の対応される方を会場に派遣いただくこと
- ・2007年秋頃に開催予定の参画事業者向けトレンドセミナーに参加すること

< 参画事業者トレンドセミナー >

商品開発段階で改良点について意見を求めるとともに、トレンド予測などを踏まえて今後の商品開発に反映させるため、首都圏の百貨店やインテリアショップなどのバイヤーなどを講師に招き、トレンドセミナーを開催します。

開催時期：2007年秋頃(予定)

## 5. 参加料

無料

但し、商品開発にかかる製作、展示会アテンド経費、展示の運搬、搬入・搬出費は各自ご負担下さい

## 6. 販売

会期中は商談のみ行っていただきます。なお、会期終了後に販売いただくことは構いません。  
なお、開発した商品は、会期終了後、以下のショップで一部商品をテスト販売を予定しています。なお、店頭販売する商品は、プロデューサーとの協議により決定いたします。また、試作品の商品化については、当事者間で個別協議を行って下さい。(本協議会は、商品化における製品に関する権利は保有いたしません。)

「京都デザインハウス」(京都市中京区三条高倉東入栴屋町 53-1 DUCE MIX Bldg 1F)

## 7. 留意事項

会期中並びに店頭販売上で発生した展示品・商品に関する事故については、本協議会は一切責任を負いません。

知的所有権等の権利関係は、参画事業者の責任において処理して下さい。

参加にあたっては、別途、各種規定を設けます。

## 8. 実施スケジュール(予定)

2007年

7月12日	コンセプト・プレゼンテーションの開催				
7月末～	開発ミーティング(個別面談)	商品企画決定	試作開発	商品化	
秋頃	参画事業者向けトレンドセミナー				
11月	商品写真撮影(パンフレット掲載用)				
12月	メディアプロモーション、DM 案内、web サイト立上げ				

2008年

1月22・23日	展示会
2月	テスト販売(京都デザインハウス)

## 9. 参加申込

申込期限：2007年7月27日(金)

別添参加申込用紙に必要事項を記入の上、下記連絡先に FAX、Eメールまたは、ご郵送下さい。

なお、本事業への参加にあたり、下記の通り、説明会を開催致しますので、ご参加下さい。

参加の場合は、下記事務局までお申し込み下さい。

< コンセプト・プレゼンテーション / 個別相談 >

日 時：2007年7月12日(木) 16:00～17:00 終了後、個別相談を行います

場 所：京都商工会議所 役員室 (3階)

内 容：事業の趣旨、企画内容の説明、商品開発の提案

## 連絡先

ファッション京都推進協議会 事務局

〒604-0862 京都市中京区烏丸通夷川上ル 京都商工会議所 産業振興部内

TEL:075-212-6450 FAX:075-255-0428

E-Mail: [shinkou@kyo.or.jp](mailto:shinkou@kyo.or.jp)

<http://www.fashionkyoto.com> (前回の「Kyoto Style Cafe 2007」の様態をHPでご覧頂けます。)

ファッション京都推進協議会は、平成2年の設立以来、京都のファッション産業振興に資するため、京都の和装・洋装の各分野を代表する団体が一堂に会し、それぞれが持つ力を最大限に生かして京都ファッションの魅力を発信しています。これまでファッションショーやシンポジウムの開催やイベントガイドブックの発行などを行ってまいりましたが、2004年からは首都圏において「Kyoto Style Cafe」事業を展開しています。

<構成団体>(16団体・順不同)

京都府、京都市、京都商工会議所、(財)京都文化交流コンベンションビューロー、(財)京都和装産業振興財団  
京都織物卸商業組合、西陣織工業組合、丹後織物工業組合、京鹿の子絞振興協同組合、  
京友禅協同組合連合会、京都プリント振興協会、(社)京都デザイン協会、(社)日本図案家協会、  
(財)京都服飾文化研究財団、(社)日本デザイン文化協会京都支部、京都服飾デザイナー協会

## 参考 過去の「Kyoto Style Cafe」事業の実績

- 第1回 2004年2月10日(火)、11日(水・祝)、12日(木) 於:スパイラルホール(南青山)  
出展者 生地・商品・試作品・オブジェの展示:38社・団体  
技術・職人にまつわるパネル展示・生地紹介:14社  
来場者 1,100名
- 第2回 2005年2月9日(水)・10日(木) 於:ラユンヌ・ギャラリエ(表参道)  
出展者 32社・団体 来場者 570名
- 第3回 2006年2月15日(水)・16日(木) 於:ラユンヌ・ギャラリエ(表参道)  
出展者 26社・団体 来場者 480名
- 第4回 2007年2月6日(火)・7日(水) 於:スパイラルホール(南青山)  
出展者 45社・団体 来場者 520名

参加申込用紙

.....  
企業(団体)名

.....  
代表者 氏名

.....  
役職

.....  
住所

〒

-

.....  
連絡先

.....  
担当者氏名

.....  
役職

.....  
TEL:

.....  
FAX:

.....  
E-Mail:

.....  
URL:

.....  
出展対象品について

.....  
名称

.....  
特徴とアピールポイント

.....  
新商品開発に対する貴社(団体)の取組姿勢